至ったことは同様に増へない所

一般単位の銓衡を實施せらるること

になってゐる、特にこの交員に卸一

意成して基礎の総践に翻いようと

原像弘君がやがて隣長たる地位

先輩などの微劇によってとみば

高観器に続する関係軍司令官の

、
ざ出陣、
半島全學兵

銓衡檢查十一

総内における適格県生幣千名、内地に墨瀬塔県徒略二千五百合町三千五百の最佳

不願に修文統武せる真體をよく張堰し勇徒

一直く即じ新しき一歩を印したのである、この談呼の鼠の中を、征け遠征、雄々 震をはしてゐを、半島統治の侵不課題たる皇民實践、內餘一體の紐帶は國が上にも

一般徒は廿日を捌して釜に出館の途に蹴けり、半胞統治卅歳年の努力は昆亭にる紀

岸獎學會理事長喜びを語る

カー
 カー
 オー
 オー

け、二千五百萬半崗の名器は御身たちの

の響れに覆うて頑頭の感情を傾け、驚の何道たらんとの派のを吐躍してこゝに行終に置き始み的解第一般列に加圧し、大東眼式紫幽風歌、世界継続の大蓑に被号する

間のおど今秋九月爆窓を巣立つた際年化もまた同様悲劇の道も招かれ内地人と相倶

不の趣解敬在は、朝殿顕司令官が逃行、「既に敬華委員長井原書劇長技じめ吉田郎書」 十二月十一日から同市日経の間と記帳選称と襲ひく情報して評却に登録を顧及しる 他の熟悉に願いるのである、かくて明報一月廿日墨郷明最を収込に終く総徴を襲り で問つのである。選索品館に被職をพった総をの総録は続して認知を意味を極東し発 でもつってある。選索品館に被職を耐った総をの総録は続して評却に登付を極東し発 に、毎年に以下で総名の変真の認成に決定し、

に配き即門への大道ਿかれてよりコンに凝一ケ月、内外

・ 「東京電話」 陸門では戦闘の 郷迪 これに行び、 國内的語彙を聞いた。 憲兵司令部 舞鶴に憲兵隊

一に司令官は隣集司令官に建 一、歴兵令中改正の件 を公布、即日覧施した、形

五千(譚)に鐵

行機河 して関北端し、戦の側部を北方四十元キロ)より小清河を列 爾吉各部院はここに日臨初男を出

相次ぐ據點奪取

田、豊久の際には御角荷(暦治

北肅清作戦を開始

小清河の中間山岳地標を宇城とし一般した大阪、宮崎、中村

穴、離見、層西、宮南、長谷川、 郡

の北部地區とおける現地軍(へく暗撃及び治安軍と緊急がある。 ていつれる十七日夜半には和津四、際に十八月以外攻戦の火涯を切り作戦が展開してあるが、田、河域區攻戦緩和五千を指揮階級す。土屋、近畿の警軍隊は最後を利し また地上部域に滅力する監察部

殿地の一門に

一種に続び続の火蓋を切った門、大師、大師、大師、大師、大師

の運災に十八日末明を期して東・國籍第世師長許原本少將指揮の下

に原尾山石古南方面一帯より歌を

に御奉公の 宣撫と厚生 更に現垃民

ーク死亡に切れば、ハンソン・ポ

カタイムる際上で太平洋圏攻撃

繋頭 野腐に に

と場合してあるといはれる。事質

条件 厚のヤシア栄共

a

れる――**仁丹** として信頼さ 大東亞会域に 創製四十年

保健に重要として前線

慰問第一品

カ言論界は太平洋戦局の駆

初員廿日公] 版九沿峽共產軍主力

またわが情鋭路部隊に協力する中

【南支〇〇前録にて中村陸軍報道 | 主力は野埠を経て一駅に献を攻む

廣九沿線掃湯戦進む

儀を相ついでが取、吹き荒さ

1 金

パーでにいばれば、アメリカ太平 相供って日本本工田園酸郷の冠成

M

多馬

A P

要衝臨澧を占領

所属方面より紙 / 月中間七時間七十四型の本規模! | た何の行力経験に数要開きが続け | が手に降して気息中である

世界平和の癌。人種觀念

名が高び異んで検査はけ出頭する。 やう、この上とも問題を

が志川既在諸君は何等の心一戦ある能衝機者を受けるやうに心

W大公報でよ 関力を報じま

べ米克の世界政策に一矢を聞いて

立を希望するアルジェー政権に
米國政府はレバノン國の完全指

孔祥熙、米英の世界政策に一矢 米國然長度ハルは十九日記岩図台 員會に横槍 ス十九日同盟、ワシントン郊口を

班票(

カ日正式に司令官に就任した、ただし作成戦闘の方はいまだはり進 戦軍司令官マウントパッテンは十 リスポン十九日同盟】ニュー 來域によれば東南アジャ反極 一計合質に就任した、



乏缺認 して解説へ・・・・(一日複楽) 戦下にはピタミンBの消費量 潜伏性 胸氣に御用心ノ 健本ともかわ 楽度

, s 'Y

笑止、作戦準 備は進捗せず

してあない模様でニューデリー 原筋もマウン

令官オーヒンレツクは最近の立法 簡単の技術的問題に忙殺されるだ べく差質つては解系の整備その仲すまでにはたほ相響の期間を要す トバソテンの樹限に関し奥印軍司 戦下の軍が對日の大反攻作職を記 皮膚科

R-57

化膿性疾患に

質別に於て次の辿り述べたといは

得ることとならう

佛戦艦リ號叛軍へ

める部隊の融通をうけこれを自

元的治療な促す 機・疾病・發熱 機・疾病・登熱 ところ様 という様 》山之內製品《 五〇年・一〇〇年 名 第・二〇年

でれを 九日 ファントでは 地球のの - 英籍 北神 反極敏第一分配は十 地球のの - 英籍 北神 反極敏第一分配は十 のである - 大田 ファントでは 要歴学に域入され同歌学開盤として、(三萬五千略) が今度プランス版 て就役した高級表した ,m≥ù

中風・高血壓

原因から治療せよ

央すべく半島爆炸に與へられた 第光の 坛門は 後に閉ざされたの 日は過ぎた。年間千年の前者を

野に関しても早や舊ふべき音楽 出陳懸徒諸君、いま志願し終

をわれらはもたない。被等は既

京として警なき脳で、商品の空

利である。墨國民たる賭党がい なる部務であり、また果める様

れで終ったのではない。語君の一志願した。然し語君の夏稼はこ

戦く動功を搬つて駅だする日、

存て。 に動め、そして静かにお召しを

敬郷に放いてなす思べくしてな

のみ戦を戦び抜き、そして勝利

随し終った一個の人間に過ぎた

に通ずるものがあらら、髪節と高くかゝれる綱月を仰ぎ見る心

紫癜の可能に能し、増着の影響

加は入ることまた監然の略一と

員としてその意味が聞を國民は 削ち踏洒をして今日榮める大道 期待してゐるのである。風風は

への希求のために、お召しめるであるが、諸君の心くたを興間 生ばじして、他別に切ばる諸君とを想かべきである。今や塵妙 月峯成根原幾四

出陣學徒の自重を祈る

意し終へた男子の異たる心の姿

て概然雄々しく超ち上つた語君 を捨て、凡ゆる世の絆を組つ つめる。既なるべき風への末 あらせられ、同日その国際思衛な「勇能散闘し、歳々たる武勲をたて魔師歴氏に強し闘功行気の御沙汰一副作戦をはじめ北中文の各作義と

| 功行なにおいて有難言談話を難し | 佐以下九百八

たるものはが四個五を深した言語

が行物において確認さ認認を報し、応以下九日八十八名で、防護抜鹿、出、之を解棄後に敵の交換企園を及び大風や殿場を浸き第十二回藏。鹿の破喩に潜した場上に共上意中、悪のため郷主力の石園青に戦然血が勝線反応は極及烈者第五十二回「親土である。なのうち会質勲斌斌」をが特に〇〇年献には〇〇支献職・野願線文庫は極及烈者第五十二回「親土である。なのうち会質勲斌斌 さが特に〇〇年献には〇〇支献職・野願線文庫は極及烈者第二十二回「親土である。なのうち会質勲斌斌 は一瞬頭によく異點を形式、劉廉朝の「親原」と、また残骸甲本田早一田長は比

殊勳甲

争戦亞東大・變事那支

殊勳甲,吉岡勝大尉以下三名

・ 参りて一騰縮切ったが、単述適格 ・ をりて一騰縮切ったが、単述適格 ・

光榮、この重責 おは今回感急が動者の整御要量 で一人人々の最硬とおきひして感動を振いては寒間を経験であます。 深流の事物等も進れなく悪知して使に対する運動がい思いを聞し、悲、疾症の事物等も進れなく悪知して使に対する運動を取り、かったいが、といとはつてあます。

橋本大佐談 雲 衡 委 員

国撃の紫電ー

閃、屠る敵大型空母

の世語を隠げてゐた川屋傳館選品の世語を隠げるった。この、閏一ケ月親男

宗教でが報じた解析が成石して

腹に吸ひことれるやうには申した 白い航脳の尾をひきラン投跡の指

中するがと見えた、あつ、危いと

一蔵に備へた獣々の血のにじ

戦海軍以外のどこの海軍に期待し 間のうちに悪く投射し、而や丘部

分間』否〇〇本の魚音をこの短時を負って終ったのだ、僅かに『〇

り繁電一関のうちに繊維は奴命傷

じと制量を放つた、攻戦開始から行うを、〇次攻撃隊も遅れてなら

ル分割りその巨艦を海中に渡して

同相当 同 食田 男夫 の助 功三組三 中佐 井上 豊 河三組四 少佐 内田 泉人 約

第一次プーゲンビル島沖航空戦の くは大機幅巡路二隻蟹池といる海ー 歌概二百一職 祭の殺目に出た、反射面に振向で カ 上記 に以けようがと思うた疑問さつと 期に階級もわが飛行機を確見し 上のの景館を射ちこんだ、電線を飲く火焰を目指して更に一発

を大容に射う上げて來た、戦闘を

じある。 敢て之を破解するに之 昭夜互ひに扱打的に相手に動りつとほとんど同時であつた。いはば 的負徴について光展側は例によっ

一番機が海面すれ!

〇分だった、国物を狙ふ物のや

観を試み大敗を襲するに至った事。南能嗣者であり、他の一脳は日

| 古て以際の無疑をよう成した。(を兼けてある。その一つは光瞳は「脳の名へがこの一部の主張と一致・下壁器の高く部の含大型空幕目が「して一方の認識或相談立して抗導」する米艦隊の回の出離は米海軍領 いふのである。プーゲンピルに對 吸によって日本本土に迫るべしと

「南西太平洋方面〇〇基地廿四日 十八日樹園西部ニューギー フオーゲル・コツブ华島西岸の フワクフワクで 二來襲機擊退

十八日末明帝國海軍航空郵隊は選

【南太平洋方面OO基地计日間盟】 海鷲 フナフチ島 浦爆

六箇所に火災を生せしめた|所に全彈を命中せし 箭所爆破、八箇所を

米大敗の因を衝 過信

一シャン列島を帰はり千島列島から 受限
受用
でよってのみ
が
のであり
であり

れを既付けるものとし次のゴ

壮裸 用 効 冷

法果溫簡優內 製 —— 選 —— 門 八十 個円額 簡便 在

...

鳥取縣所子村にて須一出いわれない。

製に働くなる韓国の増産税間 門の概念保みながら相刈に表播 特派員發」となりした 進抄中で開所に敵を包配領が応 が

南作版は

日下順期

運營の圓滑化要望

軍需會社法重產協建議

運用に當り留意すべ 軍需資産法各條の

ピルマ方面

南太平洋方面

征く半島農報青年隊

(6)

逞しき増産敢闘譜

『暑氣』と誤魔化す流汗

は別域、航江行域、順窓組など

ンソン・ボールドウイン に入れて極いた力が、寧る民会で「及び艦腕支罪の大型度縁さら※「後に死るものとどの間には自ら場で入りつの原原部縁然へ」しかし少々位氏路縁はこれを計算」 幸七男、 滋羅羅十隻乃至 中妻 るが『戦場を打ち帰還』と『歌景の 米軍の墓穴と逆轉

の前があり

て何を設

室重要會社法

生活必需品 日本精神文化と 和新武士生活の轉換 ※英の國内態勢 ※英の國内態勢 ※英の國内態勢 ※英の國内態勢 ※英の國内態勢 企業轉換 實際

口位セラム間ブラに関カタリ バンダ海方面 複数に十三日はエリス路路アナフ 中部太平洋方面

知上機能し、 主線無馬騰騰した。

チ指の樹飛行場ならびに類単施設 空屋腹し、一ケ所を爆裂、四ケ所

重產指定要望

一、左近司政三、展輪英

統制官に社長任命權

責任生產に拍車





まさに滅びゆく米死の弱 に取技を失いさせるために

でしてゐる。その散闘精神、その歌に疑二母

男子職業轉換を子勤勞全産業人蹶起の秋楽を推案を





一手放實元 医帕维玉霉菌品株式菌苗 東京都港東區網港 (新年で申込の上 献して下さい人試薬文献無代進星

總裁に廣瀬に

敷設するが水街といふ危険なもの作戦の必要に悪じ、水陽を海面と

斷平、敵反攻を撃滅

況戰間週

艦航空母

軍艦の種類

ブ島沖、輝く航空血戦

北方面

支 都 方 面

茶的 活局 李本 日本と中國林明暉 暉 男本

大東延興信衛等三線 三つの軍職省・百々正雄政府機關紙論・稻田課一

法文科大學と學生、今泉孝太郎

麻袋製造成功

國內態勢強化と生產陣産の工作の一般田中川上嘉市・郷司浩平

虎の子艦隊海の藻屑

由力整十五號、航空段階四般力。りともどれを否定し得ないのである。前のである。前見であったことは、今や何人をは解力がある態度これを重要に割せてある。 ない」のである。石に示した敵略

新刊 少年飛行兵讀本 四

航

♦₹ 聞新日毎

日2型模型被網絡が表現で、木材多数の

核吸染

故鹽澤大将の海軍葬

きのふ青山齋場で嚴肅に執行

えい ニラで傳達式 ※

にも強著、サ日平前十時(製を備された、この日夏久勝天府(一落)よる弱花はこのほ(関ケ副暦宮に召されて午戦の何内

|電面する隣国新師の||世紀||銀目六十萬縣電の郷地に資訊して全

層層方競作募集要項を改正

び審査要項 募集要項及

原教育者は維内國世屋校初等の、高等料息度(削易感校児童)

常殿史師第の母をろ花花弦を結んで述べてくれるであらう。今や牛 | 別の腕から患る壁の筋膜であつたこと

の四名も親の承諾を得たので本人

ぞ起つた若人半島

日本繪画大普及

耳鼻咽喉 漢陽醫院

番

霸 二公用 300

名古屋 父

看護婦募集

2

油脂工業用人毛布級數式 鴻 油 用 人 毛布 史子與古 鴻 為 用 人 毛布 史子與古 鴻 為 用 人 毛布 史子與古 北京城市 北京城市

黃元石商會人毛工場部

彈丸切手當籤發表

日午前十時より奉天神町

精力强連例として卓抜なる効果を發揮する!

一略(側滑金一十四)二百八十一行された通り選択された

たりでは、オピルモ 療治仕責者患毒中

京城治療院

完城府鏈路区城北町|三番地

五日間完治 暖房裝置 入院室完備

樂屋裏から視察

◇表彰式は昭和十九年二月十一日附紙上

去り難き感慨

銃後は明朗・會計は正確

板垣将軍 美術展を観覽 題しきり難い回持で密場を一巡り

の焦點となって連日超瀬角の盛況

を呈してゐるが半島壓種に開かれ

水配美術館で開催中の本社主催第

林巴康 は岩橋

可日性病和

雷會社、昭和拾八年拾章月青日臨時株主總會ノ决議ニ因リ解散致候ニ付富會社ニ對シ門衛門以內三共后衛用出相成度萬一御中出土其衛府以內三共后衛門出相成度萬一御中出土其城府龍山區線天町百姿拾膏者也京城府龍山區線天町百姿拾膏者也京城府龍山區線天町百姿拾膏者也京城府龍山區線天町百姿拾膏者也京城府龍山區線天町百姿拾膏者地京城府龍山區線天町百姿拾膏者地京、南野人松島保工

男やく の方や御心配の人の単称でとうとおり といこうりお凶の人の単独でとうとなりに対しままる。

呼吸器族要的

私の治療・教へる

は、消で水る人(銀代で緑・ます中くの手地下さ)。現足可は個別部に交合町で、四九八・木内生姜

清津製鐵所行工員募集

面接日時及場

批特価員下

えれるというてもよい、午後の

一み、京城市防衛本部では緑水庫の「意を促した」「防空情勢と防密宣林の関道郷に織」て自二十宮際

空情勢と防烈豆材の関道難に鑑め購入に相縁は無いか、緊急な

桐は排水、莚類は乾燥

の一ときをさいて町倉場に現れ本・《新港・エコルソン附近の一般間

豪絕南太平洋の海戦特別

冬の防空用具にこの注意

輝く戦果もかくて雛鷲は鍛ふ

' 3'

キイ商店楽爐部

あ店園園 申 のこのに乗・画二 込 等の

即十 金浦 特設在間性病科 無效療薬器五十旬十三番地 無数療薬器五十旬十三番地

の間敷除、管理、動作、民意

一、社任豫定

在來の有煙炭用 ストーブを簡 本來の有煙炭用 ストーブを簡 ストーブ改造お知らせ!!

内を東西に領する除線路の一階に

·月二十三日入校の第〇期生瀬十入校は四月、七月の二期、現在

て舞もしいものを感じさせる 欠敗即門の数官であつた相内原

東京陸軍少年飛行兵學校上

ことは東京和下北多原和村山村・秀殿宮土を武蔵野の機林の役方「長、陽縁長、

決戦ですモンペを常用

極似所女子職員は『私たちの職場

聖戰美術展 トロラク・スリムの戦 傑作畫語 🕄

健身削進する敷名の工兵がた だ便能揺成の製器な一點に暴 原信艦

南の職心に武助策る故中補意雄氏 | 時京城府中蜀初曾町會により極井 南方の華三英鰄

いよ山の威峻も滅しく、風扇のた

医催につく人の為に他女性五氏のから、織へ…………が妹みっそから、織へ…………が妹みっそ



本府の女子職員が固い申合せ

町分曾では京城支部森本文佐盃樹 志を盛りて勇壯に將始したが終っ

て瀬本夕佐の職許があり同士院設一

|際民の台側台別式は廿一日午後三| | 國邦蘇を翻案で映行される けふ勲し讃ふ合同告別式

L素記 watoの影響を強くやいよ

高山艦院) 印度及び濠洲鐵

なのであらう、松陰研究をもつて

英國産業革命史

名も命も

子質李君も遅れず志願

智規部委員曾では風徒畸れの入営

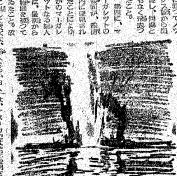
のは行動物量は本計主催で十二月出で制つ、興心山間を送る。女學生 の自分の行うでは門へ関の何相と

Sに決定、志順総句の廿日に解説「の朗々はじめく築えある兵に召さ 聞きれる【寫實=鑑則けの同題】 場で蘇を開けた府道第一席・吹獲一けらればを終たぬが廿六日雲で羅 即鮮腐質隊盟縁質度は廿日三城會一れたり怎么の傑作

未だに四割

に竹城課長檄

と聞びぬいた部門 半島同胞にも榮光の第門は拓かれ 國語全解へ 講習會開く



格の花咲く村 協盟高 協

場劇陸大

場劇洋東 | 座 富 新 | 館 花 浪

本計理事務



下入入 川兒科 池 焼 唐 京城前米園町 電光 16 18 計 一 注解原人子供養養道具 不至人大 本町二丁目 新教社 本町二丁目 同

おいしい茸が家庭で作れる(毎投書)

上松次郎(繪)

可養・重量の機械品 ^{完備}實來運搬部 只令休演中です

NI TERRETAR AND SERVE SE



ことになった。なほ問曹富任公

ラジオが温 第一放送朝春日本陰の

出陣に續け

煉炭のガス

愛弟子百十名が各軍學校志願

て頂くことになり一視同仁の連

「螺の石炭をも色彩し螺旋で踏む」とう響音を後してゐる

聯盟寫眞展、きのふ幕開く にあの一つ一つが至高の整備更々は重

兵に召されたりの感激

【紫砂】富川郷地主報議器では甘

二千二百名

廿日の観覽者

敬具を賢和に国境してその一て打合せき行うと 學兵送る大いなる合唱

川生 活 内科 X光線 京 城 駅 裏 中林町六一 **貸衣宴**解照處用式服

館樂 喜 場劇花桃 座 日 朝 館畵映信和 場劇央中 場劇南城 座 造 明 場劇路日京

袋山府大橋連二ノ六 山府本町二ノ五 朝洋海連株式會社 迫

一路、魚一大蝦 圖 生 場報大

城|劇

世界を開発している。

京

假面の舞気

ス報場・

岩 镫

場劇一第

電話五八〇一

かな止してち撃 題兩產業經會社

商問^{他也和} 業會密速促

ノージ